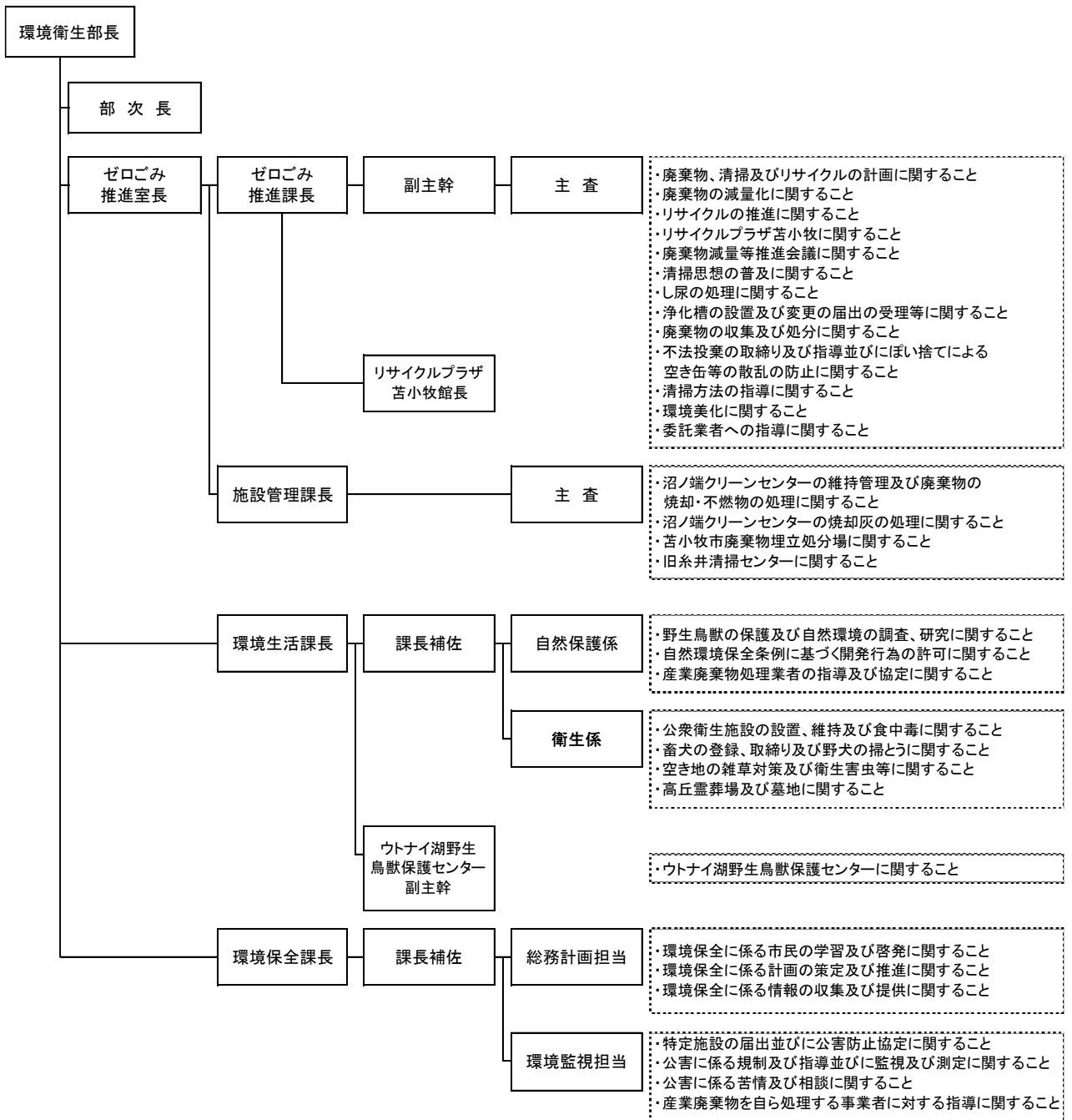


第2章 環境行政の概要

第1節 行政組織及び予算

1 行政組織及び事務分掌

(令和2年(2020年)3月31日現在)



2 予 算

■環境保全費の事業別予算内訳

(単位：千円)

事業区分	令和元年度 (2019年度) 予算額	令和2年度 (2020年度) 予算額	比較増減
環境審議会委員経費	129	129	0
環境保全業務等経費	2,234	2,251	17
公害対策経費	25,704	24,910	▲794
環境基本計画推進事業費	498	498	0
大気汚染常時監視測定機器整備事業費	7,890	12,110	4,220
航空機騒音常時監視システム整備事業費	41,453	0	▲41,453
住宅用新・省エネルギーシステム補助事業費	7,000	7,000	0
環境保全啓発事業費	0	800	800
計	84,908	47,698	▲37,210

(担当課：環境保全課)

■自然環境保護及び衛生諸費の事業別予算内訳

(単位：千円)

事業区分	令和元年度 (2019年度) 予算額	令和2年度 (2020年度) 予算額	比較増減
(自然環境保護費)			
自然環境保全審議会委員経費	92	137	45
自然環境保護経費	5,306	5,416	110
野生鳥獣保護センター管理運営経費	18,916	14,853	▲4,063
アライグマ捕獲事業費	5,944	6,886	942
拓勇樹林地区自然環境調査事業費	0	6,138	6,138
小計	30,258	33,430	3,172
(衛生諸費)			
環境衛生経費	214	214	0
動物火葬場維持管理経費	1,638	1,439	▲199
畜犬登録事務等経費	3,369	3,369	0
公衆浴場下水道料金軽減経費	24,000	22,000	▲2,000
霊葬場指定管理費	49,065	49,409	344
苫小牧地方食品衛生協会補助金	120	120	0
公衆浴場振興補助金	378	378	0
霊園維持管理運営経費	22,398	24,736	2,338
公衆浴場設備整備助成金	536	0	▲536
公衆浴場確保対策事業費	625	625	0
霊葬場整備事業費	17,000	17,000	0
霊園管理基金積立金	1,752	920	▲832
霊園改修等事業費	2,500	968	▲1,532
小計	123,595	121,178	▲2,417
計	153,853	154,608	755

(担当課：環境生活課)

■清掃関連の事業別予算内訳

(単位：千円)

事業区分	令和元年度 (2019年度) 予算額	令和2年度 (2020年度) 予算額	比較増減
(清掃総務費)			
廃棄物減量等推進審議会委員経費	425	387	▲38
清掃庁舎管理運営経費	8,584	8,269	▲315
リサイクルプラザ事業推進経費	7,221	7,388	167
一般廃棄物処理基本計画策定事業費	0	8,195	8,195
053(ゼロごみ)推進事業費	23,236	0	▲23,236
053(ゼロごみ)大作戦～ステージ5～事業費	0	17,012	17,012
小計	39,466	41,251	1,785
(塵芥処理費)			
塵芥処理事業経費	589,560	646,807	57,247
清掃車両運行経費	10,715	10,276	▲439
資源物中間処理事業費	212,122	214,286	2,164
資源リサイクル運動推進事業費	163,296	201,882	38,586
清掃統計処理システム事業費	1,207	1,218	11
ふれあい収集専用車両リース経費	0	872	872
小計	976,900	1,075,341	98,441
(清掃施設費)			
沼ノ端クリーンセンター管理運営経費	525,188	484,314	▲40,874
埋立処分場管理運営経費	21,073	22,006	933
清掃施設ダイオキシン類測定分析業務費	2,313	2,662	349
廃棄物処理施設整備基金積立金	100,040	90,056	▲9,984
沼ノ端第2埋立処分場整備事業費	573,804	263,121	▲310,683
沼ノ端クリーンセンター整備事業費	0	222,327	222,327
小計	1,222,418	1,084,486	▲137,932
(し尿処理費)			
し尿処理経費	142,681	142,174	▲507
西町し尿処理施設改修事業費	532	3,476	2,944
合併処理浄化槽設置整備事業費	1,700	1,500	▲200
小計	144,913	147,150	2,237
計	2,383,697	2,348,228	▲35,469

※予算額は当初予算額

(担当課：ゼロごみ推進課、施設管理課)

第2節 環境に関する主な取組み

1 苫小牧市役所エコオフィスパラン

本市では、平成14年(2002年)「苫小牧市役所地球温暖化防止実行計画」策定により、市の事務・事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組んできました。

また、エネルギーの使用の合理化等に関する法律(以下、省エネ法)の改正により特定事業者の指定を受け、平成22年(2010年)11月に省エネ法に基づく取組み方針を策定し、エネルギー使用量の削減にも取り組んできました。

温室効果ガス削減の取組みは、エネルギー使用量削減の取組みと一致する部分が多いため、平成23年(2011年)4月に策定した「苫小牧市役所エコオフィスパラン」において、環境マネジメントシステムのPDCAサイクルの手法を取入れ、市の事務・事業による温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の削減を目指して取組みを進めています。

(第1期エコオフィスパラン計画期間：平成22年度(2010年度)～平成26年度(2014年度))

(第2期エコオフィスパラン計画期間：平成27年度(2015年度)～令和元年度(2019年度))

(1) 温室効果ガス排出量削減の取組み

令和元年度(2019年度)の市役所における温室効果ガス排出量は、56,996 t-CO₂となり、基準年度と比べると14.0%減少しました。内訳として、エネルギー起源CO₂は市役所全体の合計で3.9%の減少、廃棄物燃焼による非エネルギー起源CO₂では、31.9%の減少となりました。

■ 苫小牧市役所のCO₂排出状況

(単位：t-CO₂)

排出区分	H25年度(2013年度) (基準年度)	令和元年度 (2019年度)	増減
エネルギー起源CO ₂	42,337	40,692	-3.9%
非エネルギー起源CO ₂ (廃棄物燃焼)	23,935	16,304	-31.9%
合計	66,272	56,996	-14.0%

(2) 省エネルギーの取組み

令和元年度(2019年度)の市役所におけるエネルギー消費量は、16,312キロリットル(原油換算)となり、基準年度(平成25年度(2013年度))と比べると2.94%減少しました。減少理由として、設備の更新・運用方法の改善、LED照明の導入や不要照明の消灯など職員の節電・省エネの取組み等が挙げられます。内訳として、燃料燃焼が1.0%増加し、電気使用が4.4%、熱供給が7.0%、自動車使用が11.5%とそれぞれ減少しています。

2 グリーン購入の取組み

物品等を購入する場合において、品質や価格だけでなく環境への影響を考え、環境負荷ができるだけ小さい物品等を優先的に購入することをグリーン購入といいます。

平成13年（2001年）4月に施行された、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき、本市においても平成15年（2003年）1月にグリーン購入推進方針を策定し、取組みを開始しました。

なお、取組品目数は過去数年間で購入実績がない物品や極端に少ない物品の除外、また、類似品目の統合などにより変動します。

■グリーン購入取組実績

年度		H27	H28	H29	H30	R 1
区分		(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)
取組品目数		24	24	24	24	24
取組分野	紙類	92.3%	90.9%	89.3%	88.1%	91.3%
	文具類	96.7%	99.8%	99.5%	99.8%	99.8%
	電池	98.6%	99.2%	99.8%	99.8%	99.8%
グリーン購入率(%)		92.4%	91.2%	89.5%	88.5%	91.5%

3 公共工事環境配慮

グリーン購入の中で特に環境に与える影響が大きい公共工事の分野に関しては、グリーン購入推進方針とは別に、平成15年（2003年）3月に公共工事環境配慮指針を策定し、取組みを行っています。

■公共工事環境配慮取組実績

年度		H27	H28	H29	H30	R 1
区分		(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)
取組項目数		28	28	29	29	29
取組実績数		23	22	17	17	18
対象工事数		260	267	201	209	178
環境配慮率(%)		94.9%	92.2%	81.9%	90.4%	93.7%

4 住宅用新・省エネルギーシステム補助事業

平成 21 年度（2009 年度）から地球温暖化対策の一環として、太陽光発電システムを自ら居住する住宅に設置する方に設置費の一部を補助する事業を展開していましたが、平成 28 年度（2016 年度）から 3 機種の省エネ給湯暖房器システムを加え、令和元年度には新たに HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）及び定置用リチウムイオン蓄電池設置補助を追加しました。

■補助上限金額

- 太陽光発電システム（購入・設置費の 1/10 上限 12 万円）
- エコキュート（購入・設置費の 1/10：新築上限 4 万円・既存上限 4.5 万円）
- エコジョーズ（購入・設置費の 1/10：新築上限 3 万円・既存上限 3.5 万円）
- エコフィール（購入・設置費の 1/10：新築上限 2 万円・既存上限 2.5 万円）
- HEMS（購入・設置費の 1/10：上限 2 万円）
- 定置用リチウムイオン蓄電池（購入・設置費の 1/10：上限 12 万円）

■補助実績

（単位：件）

年度	区分	太陽光発電システム	エコキュート	エコジョーズ	エコフィール	HEMS	リチウムイオン蓄電池	計
H21 (2009)		5	—	—	—	—	—	5
H22 (2010)		10	—	—	—	—	—	10
H23 (2011)		20	—	—	—	—	—	20
H24 (2012)		101	—	—	—	—	—	101
H25 (2013)		148	—	—	—	—	—	148
H26 (2014)		110	—	—	—	—	—	110
H27 (2015)		51	—	—	—	—	—	51
H28 (2016)		31	64	179	51	—	—	325
H29 (2017)		34	69	163	83	—	—	349
H30 (2018)		35	74	182	70	—	—	361
R1 (2019)		19	29	50	50	6	5	159
	計	564	236	574	254	6	5	1,639

5 環境学習・啓発事業

現在の環境問題は多種多様であり、地球温暖化など私たちの生活と密接に結びついた問題の解決には、市民一人ひとりの取組みが大切になっています。

本市では各種の環境学習・啓発事業を実施し、市民の環境意識の向上に努めています。

(1) 出前講座・副読本

市民や学校などの要請に応じて職員が町内会や学校に出向き、環境保全に関する講座を行います。また、エコドライブの推進を目的に、市内の施設で体験型出張説明会も行っています。令和元年度（2019年度）は、出前講座に75名（市内2か所）、エコライフ情報局、エコドライブ情報局に154名（計8回）の市民参加があり、環境啓発に努めました。

また、廃棄物を始めとする様々な環境問題への意識啓発として、小学4年生を対象とした「小学生環境教育副読本 053（ゼロごみ）のまちとまこまい」を発行しており、授業や様々な活動の場面で有効活用されています。関係各課と連携し、地球温暖化や自然保護等に関する内容も盛り込むなど、毎年内容の見直しを行い、市内全小学校へ配布しています。

さらに、中学生向けには1年生を対象に「中学生副読本 ごみとリサイクル」を発行しており、市内全中学校へ配布しています。

(2) 環境月間啓発事業

昭和47年（1972年）6月5日から16日まで開催された国連人間環境会議において、人類とその子孫のための人間環境の保全と改善を世界共通の努力目標として、実現の意思を表明するため「人間環境宣言」が採択されました。これを記念して、開催日である6月5日を「世界環境デー」と定め、世界各国でさまざまな行事が行われています。我が国では6月を「環境月間」と定め、将来により良い環境を継承するため、国、地方公共団体、民間団体などによって各種の事業が実施されています。

本市では「環境月間」に合わせて、エコドライブやごみの減量、リサイクルについて周知・啓発を行う「エコライフ情報局」を開催しているほか、1か月間、5つの項目に取り組む「エコドライブのすすめ」を、市職員全員で実践しました。令和元年度（2019年度）は、「エコライフ情報局」内のエコドライブ体験に、市民49名が参加し、また、「エコドライブのすすめ」では通常運転と比較して、全体で13,894リットルの燃料削減と31,956kgのCO₂削減となりました。

(3) 環境教育事業

環境教育の一環として将来を担う子どもたちを対象に、環境保全と創造などの大切さを学び関心を持ってもらうことを目的として、本市や環境基本計画推進会議（市民・事業者・市の三者による協働組織）により毎年度実施しています。

令和元年度（2019年度）は環境基本計画推進会議の主催により、環境保全に向けた様々な取組みを行っている事業所を見学する「エコ企業見学会」、水生生物の採取や水質状況の調査から環境保護を学ぶ「せせらぎスクール」、地引網体験や簡易水質測定を通じ自然環境を学ぶ「ウトナイ湖漁業体験」、森林整備から森林環境保護を学ぶ親子森林整備体験「秘密基地を作ろう!」、省エネ調理法を学び実践する「親子でエコ・クッキング教室」を開催しました。

(4) わが家の節電コンテスト 2019

市民を対象として、地球温暖化に対する関心や省エネルギーへの意識を高めるとともに、温室効果ガス排出低減に向けた行動推進を図るため、各家庭での令和元年11月と12月の2ヶ月間における電気使用量節電モニターを募集しました。24世帯の参加があり、参加者全体では、前年同期間比削減量149.2kWh、削減率11.38%それぞれ増の結果となり、節電効果が見られませんでした。このことについては、平成30年（2018年）に発生した胆振東部地震によるブラックアウトの影響があり、同年9月以降各家庭において節電を心掛けたため、数字に表れなかったものと推測されます。このような中でも節電効果がみられた世帯もあり、削減量及び削減率部門の成績上位各3世帯に賞状と副賞を贈呈しました。

(5) エコオフィス宣言

事業所から排出される温室効果ガスの削減のために「エコオフィス」を宣言し、下記の取組みを実践する事業所を募集しています。令和2年（2020年）3月31日現在、392事業所がエコオフィス宣言をし、取組みを実践しています。

■エコオフィスの取組項目

- 1 冷暖房温度の適正設定
- 2 節電・節水の徹底
- 3 エコドライブの推進
- 4 グリーン製品の購入推進
- 5 新エネ・省エネ設備の導入(LED照明の導入など)
- 6 ごみの分別の徹底
- 7 その他、独自に取組まれている事項



エコオフィスステッカー

(6) エコドライブ宣言

地球温暖化防止対策に有効な運転方法である「エコドライブ」を宣言し、下記の取り組みを実践する方を募集しています。令和元年度（2019年度）は184名が新たにエコドライブ宣言し、令和2年（2020年）3月31日現在5,434名の市民及び市内の事業所へ通勤されている方が「エコドライブ宣言」され取り組みを実践しています。

■エコドライブの取組項目

- 1 ふんわりアクセル「eスタート」
- 2 加減速の少ない運転
- 3 早めのアクセルオフ
- 4 アイドリングストップ
- 5 エアコンの使用を控えめに
- 6 タイヤの空気圧をこまめにチェック
- 7 不要な荷物は積まずに走行
- 8 その他、独自に取組まれている事項

ふんわりアクセル「eスタート」とは燃費を向上させる「やさしい発進」の名称のことで、平成17年末（2005年末）に、エコドライブ関連4省庁にて構成される「エコドライブ普及連絡会」で決定されました。この発進の目安としては、発進から最初の5秒間で時速20kmに達するくらいの加速が目安とされています。



エコドライブステッカー



苫小牧市エコドライブ宣言 とまチョップエコドライブステッカー

(7) 市内における環境教育の動き

様々な事業者が、次世代を担う子どもたちの環境学習に、積極的に取り組んでいます。

・いぶり自然学校

幼児から大人までを対象に、胆振地域での自然体験活動を推進する取り組みを実施しています。

・イオン チアーズクラブ

小学校1年生から中学校3年生までを対象に、イオン店舗を拠点として地域の日常生活に根ざした環境学習や体験プログラムを実施しています。

(8) 消費生活展

令和元年11月9日市民活動センターで開催された、第46回「みんなの消費生活展」では、一般市民を対象に誰もが実践できる地球温暖化防止に向けた、エコドライブ体験シミュレーションを実施しました。41名の参加がありエコドライブの必要性を啓発発信することが出来ました。

第3節 審議会等

1 苫小牧市環境審議会

苫小牧市の環境施策について市長の諮問に応じ、調査・審議を行うことを目的として平成11年(1999年)7月に制定された「苫小牧市環境基本条例」に基づき設置されました。

審議会は20人以内の委員で構成され、学識経験者、市民(公募)、事業者、民間団体に委嘱しています。

■第11期 苫小牧市環境審議会委員名簿 (令和2年(2020年)3月31日現在) (五十音順)

区分	氏名	役職等
学識経験者	植木 哲也	苫小牧駒澤大学教授
	岸田 治	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター准教授
	坂田 美奈子	苫小牧駒澤大学准教授
	◎ 中村 努	苫小牧工業高等専門学校准教授
	八田 茂実	苫小牧工業高等専門学校教授
市民	緒方 共	公募
	尾崎 幸夫	公募
	小越 みずゑ	公募
	山川 貢	公募
事業者	関 欣昌	北海道電力ネットワーク(株)苫小牧支店業務部長
	長山 和雄	苫小牧漁業協同組合専務理事
	○ 野村 真理子	とまこまい広域農業協同組合スマイルレディー部長
	堀抜 信吾	苫小牧商工会議所総務課長
民間団体	猪股 瑞彦	苫小牧市町内会連合会理事
	岸浪 さとこ	苫小牧消費者協会理事
	杉本 昌史	苫小牧市中学校長会対策部長
	松岡 千鶴	苫小牧市婦人団体連絡協議会副会長
	和歌月 里佳	日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリレンジャー
	和田 正樹	苫小牧市PTA連合会

◎ 会長 ○ 副会長 (任期 平成31年(2019年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日)
(事務局 環境衛生部環境保全課)

2 苫小牧市環境基本計画推進会議

苫小牧市の環境保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画である「苫小牧市環境基本計画」を推進することを目的として、平成16年（2004年）6月に設置されました。

会議は15人以内の委員で構成され、市民（公募）、事業者・民間団体に委嘱しています。

■苫小牧市環境基本計画推進会議委員名簿（令和2年（2020年）3月31日現在）

（五十音順）

区 分	氏 名	所 属 等
市 民	川上 啓子	公 募
	小越 みずゑ	公 募
	○ 小林 裕子	公 募
	山川 貢	公 募
事 業 者	足立 浩哉	北海道電力ネットワーク株式会社苫小牧支店
	久保田 成人	生活協同組合コープさっぽろ苫小牧地区本部（2/27 退任）
	倉知 英治	株式会社イワクラ
	西田 利久	イオン北海道株式会社イオン苫小牧店
	堀 拔 信吾	苫小牧商工会議所
	山下 菜緒子	苫小牧港開発株式会社
民 間 団 体	猪股 瑞彦	苫小牧市町内会連合会
	◎ 上田 融	特定非営利活動法人いぶり自然学校
	近江 祥一	苫小牧市教育研究会環境教育研究部会
	滝本 晴美	苫小牧消費者協会

◎ 会長 ○ 副会長 （任 期 平成31年（2019年）4月1日～令和3年（2021年）3月31日）
（事務局 環境衛生部環境保全課）

3 苫小牧市自然環境保全審議会

「苫小牧市自然環境保全条例」に基づき、市長の附属機関として自然環境の保全に関する事項を調査・審議するため、昭和49年（1974年）7月15日に設置されました。

審議会は、自然保護に関する学識経験者や各分野から選ばれた11人の委員で構成されています。

■第23期 苫小牧市自然環境保全審議会委員名簿（令和2年（2020年）3月31日現在）

（五十音順）

区 分	氏 名	役 職 等
推 薦	○ 荒 木 義 信	一般社団法人北海道猟友会苫小牧支部長
	齋 藤 智 子	苫小牧市教育委員会教育委員
	下 夕 村 光 弘	苫小牧工業高等専門学校教授
	丹 治 秀 章	苫小牧市まちを緑にする会理事
	丹 治 有 貴	苫小牧広域森林組合苫小牧支所
	中 村 聡	ウトナイ湖サンクチュアリチーフレンジャー
	中 山 雅 裕	胆振東部森林管理署森林技術指導官
	名 取 幸 治	北海道胆振総合振興局森林室普及課長
	◎ 星 道 博	苫小牧市町内会連合会副会長
	山 岸 裕 治	一般社団法人苫小牧観光協会事務局長
	吉 村 誠	平等社会を推進するネットワーク苫小牧

◎ 会長 ○ 副会長（任 期 平成30年（2018年）10月1日～令和2年（2020年）9月30日）

（事務局 環境衛生部環境生活課）

4 自然保護監視員・鳥獣保護員・国設鳥獣保護区管理員

「苫小牧市自然環境保全条例」、「北海道自然環境等保全条例」及び「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づいて委嘱された者が、自然環境の保全に必要な監視や指導を行っています。

■自然保護監視員・鳥獣保護員・国設鳥獣保護区管理員名簿

(令和2年(2020年)3月31日現在)

役職	氏名	委嘱機関	任期
自然保護監視員	上島 學	苫小牧市	平成31年(2019年)4月1日～ 令和2年(2020年)3月31日
	村井 雅之		
鳥獣保護員	荒木 義信	北海道	平成31年(2019年)4月1日～ 令和2年(2020年)3月31日
	小野寺 浅吉		
国指定ウトナイ湖鳥獣保護区管理員	中村 聡	環境省	平成31年(2019年)4月1日～ 令和2年(2020年)3月31日

5 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会

ごみの減量化・再生利用等について、幅広く市民から意見を聴くため、平成5年(1993年)3月9日に制定された「苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に基づき設置されました。

審議会は、市民(公募)、学識経験者、事業者・民間団体から選ばれた20人以内の委員で構成されており、任期は2年となっております。

■第13次 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

(令和2年(2020年)3月31日現在)(五十音順)

区分	氏名	所属等
市民	緒方 共	公募
	川上 啓子	公募
	小越 みずゑ	公募
学識経験者	◎ 栗山 昌樹	苫小牧工業高等専門学校
	坂野 弘幸	北海道苫小牧工業高等学校
	平野 博人	苫小牧工業高等専門学校
事業者 ・ 団体推薦	五十嵐 昭広	苫小牧市中学校長会
	遠藤 和盛	苫小牧商工会議所
	葛西 賢治	一般社団法人苫小牧青年会議所
	木村 健二	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会
	工藤 幾子	苫小牧市町内会連合会婦人部会
	久保 良治	株式会社Jファーム
	佐藤 一美	NPO法人エクスプローラー北海道
	四方 博信	苫小牧資源リサイクル協同組合
	寺島 美幸	生活協同組合コープさっぽろ
	堀江 正浩	JX 金属苫小牧ケミカル株式会社
	松崎 愛	NPO法人放課後等デイサービスワーカーズコープぽっけ
	松橋 忍	苫小牧市小学校長会
	○ 山内 幸子	苫小牧消費者協会
山川 静子	苫小牧市老人クラブ連合会	

◎ 会長 ○ 副会長 (任期 平成31年(2019年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日)
(事務局 環境衛生部ゼロごみ推進室ゼロごみ推進課)